

「防災」の原点は「地域」

—「地域防災」創刊に当たって—



一般財団法人 日本防火・防災協会
会長 秋本 敏文

規模の大小を問わず、どのような災害であれ、被害を最小限にとどめるためには「地域」の対応が極めて重要なキメ手になります。その地域の自然的社会的な状況に応じ、地域の皆さんの総力結集の協力体制により必要な対応がされるかどうかが重要であり、それには発災時だけでなく、日頃からの地域の人的なつながり、防災学習や訓練の実行も大事です。「防災」の最も重要な原点は「地域」の対応と申しあげてよいでしょう。

平成25年12月制定の「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」は、消防団の強化とともに、地域のさまざまな人たちの総参加による地域防災力の強化を推進するものであり、これまでにない画期的な法律です。我が国の防災対策の歴史の中でも大変重要な意味をもっています。このような法律が制定された今、この法律の趣旨を実現するため、地域防災の重要性を幅広く一般の方々にご理解頂きながら、防災関係者が連携協力していくことが重要です。

地域防災に関する総合情報誌「地域防災」のこのたびの創刊は、関係の皆さんのそのような思いの中から生まれました。日本防火・防災協会が刊行する形ですが、総務省消防庁、内閣府はもとより、日本消防協会、全国消防長会など直接消防防災に関係する団体、地域にあって中心的な役割を担って頂く地方公共団体関係団体（全国知事会、全国市長会、全国町村会）、さらには、防災に関する有識者の方々など、まことに幅広い皆様のご協力があってこそ、はじめて実現できたものです。内容は、国、地方公共団体の施策動向、有識者のご意見、全国各地のさまざまなお立場の皆さんの具体的な活動など、まさに「総合的」であり、多岐にわたります。こうして、この一冊で防災関係者にとっては関係情報が一覧できるものとなることをめざします。同時に、これが多くの一般の方々の眼に触れることによって、一般の皆さんにも地域における防災活動へのご関心やその重要性へのご認識を頂き、参加してみようと思っ頂いて頂く契機にしたいと思えます。

最近の災害の状況では、全国、いつでも、どこでも、何でもある位の覚悟をしていなければならなくなりました。この「地域防災」は、何とか創刊しましたが、スタートは毎月ではなく隔月刊行とせざるを得ない状況です。しかし、関係者一同努力して、どのようなことがあっても、被害を最小限にとどめ、生命を守ることができるよう「地域」を原点とする消防防災体制を築くために、いささかでも貢献することができるようにしたいと考えております。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。